

# 読者のひろば

与党整備委員会（委）の知事会見を受  
員長・自民党参議院京  
都選挙区選出議員西田  
昌司氏）は、つい先日、ては再検証する方針で  
日本維新の会

は、従来からの「小浜・  
京都」ルート一辺倒で  
は押し切れないと見た  
のではないかと思え  
る。京都府知事・京都  
市長や地元財界から出  
ている、京都市内を大  
深度地下で通す案は地  
下水の水位低下が明ら  
かに予想されることも  
理由なのか、西田氏の  
考え方には変化の兆し  
がみられる。

現在の北陸新幹線の  
終点である敦賀は私の  
生まれ故郷で、私は一  
日も早い全線開通を  
願っている一人でもあ  
る。しかし私見ではあ  
るが、「小浜・京都」は  
滋賀県は地元負担ゼ

## 北陸新幹線

### 敦賀〜新大阪間延伸について

西日本鉄道OB会金沢地本金沢支部 河口 明

「米原」を含む  
ルートの費用対効果を  
検証するよう、国土交  
通省に要望書を提出す

「阿波丸」と4隻が活躍  
した。本院には約50人が収  
容され、院長以下、関係  
者一同が昼夜を問わず  
看護にあたりました。  
昭和32年5月11日、西  
方寺境内に

非常に難しいと思われ  
る。なぜなら、京都  
新大阪間に2本の新幹  
線が必要だろうかとい  
うことである。  
私は「米原」ルートを  
推奨す。もちろん、滋賀  
県の三日月大造知事  
（元JR西日本社員）は  
反対をしている。それ  
は当然のことである。そ  
れでも北陸新幹線全線開  
業は見通せないであ  
らう。



## インストラクター紹介

### 近畿エリアを中心に 様々なハイキングを実施

西日本鉄道OB会大阪地本 山西 勉

山西勉氏は、魅力ある鉄道  
OB会の仲間づくりの一環と  
して、平成14年に設立された大  
阪地方本部の横断的な「ハイキ  
ング同好会」の立ち上げに関わ  
り、それ以降、毎月のハイキン  
グ例会の計画から実施等にお  
いて指導的な役割を担ってき  
ました。そして引き続き幹事  
として、活動をサポートしてい  
ます。また、JR西日本山岳連  
盟のOB理事として活動を継  
続し、研鑽に努めています。  
これまでの活動の積み重ね



とその取り組みが評価され、イ  
ンストラクター表彰の推薦を  
受賞されました。JR西日本  
山岳連盟のメンバーとして日  
本鉄道山岳連盟が開催する登  
山大会に参加し、仲間との交流  
を深め、平成14（2002）年に  
第1回例会を六甲山・芦屋ロッ  
クガーデンでスタート。それ  
以降、近畿エリアを中心にJR  
沿線の地域等、様々なハイキン  
グを実施してきました。

この間、悪天候による中止や  
コロナ禍による中断などがあ  
りましたが、これまで24年間事  
故もなく回を重ね、昨年、例会  
開催250回の節目を迎え、参  
加人員も延べ6千人を超えま  
した。西日本鉄道OB会では、  
通算250回登山の記念パー  
ティも開催しました。

## 夢を乗せて走る鉄道模型..

### 地域に根差した「鉄道フェスタ」

東日本鉄道OB会盛岡地本水沢支部 佐藤 徳代



平成8年、鉄道模型を愛す  
る高校生たちが集まり、「岩  
手鉄道模型仲間会」を発足  
させました。以来、私は会長  
として、地域に根差したイベ  
ント「鉄道フェスタ」を開催し  
続けています。

鉄道模型は、個人の趣味と  
して楽しむものに留まりませ  
ん。私たちは仲間が持ち寄っ  
た模型を組み合わせ、巨大な  
レイアウトを制作・公開する  
ことで、地域の活性化に貢献

活動初期には、当時の水沢駅  
長のご協力のもと、旧小荷物扱  
所にて「鉄道フェスタ」を開催。  
予想を上回る多くの子どもたち  
が集まり、その笑顔を見た時、活  
動の意義を強く確信しました。

東日本大震災や新型コロナウイルス  
ウィルスの感染拡大といった困  
難な時期にも、「こんな時だか  
らこそ、子どもたちに笑顔と夢  
を届けたい」との想いを共有し、  
開催を継続。

奥州市を拠点に、この29年  
間、地域に深く根差した活動を  
通じて、多くの子どもたちに夢  
と感動を与え続けています。

## 紫雲丸事故

### 70年に思いのこ

四国鉄道OB会香川支部 末澤 佳子

昭和31年看護学院卒  
業、名古屋鉄道病院に  
配属されました。

# 支部だより

## 常磐3支部で 交流ポウリング 大会開催

東京地本我孫子支部

今年で3回目となる常磐3支部(松戸・柏・我孫子)合同ポウリング大会を8月20日、連日猛暑が続いている中、冷房の効いた南柏駅近くの柏ヤングポウリングで開催しました。今回の開催にあたって3支部で話し合い、「JR現場の社員と平素から積極的な交流を



図り、相互理解を深めることが大切である」との意見がまとまり、3支部の支部長が関係駅(松戸・柏・我孫子)を取手を訪問して、駅長に大会要領を記載した案内チラシを手渡し、趣旨・内容を説明のうえ参加を募りました。その結果、参加者はOB会員19名、現役社員3名、総勢22名となりました。なお、各レーンは、OB会員と現役社員が混ざるように組み合わせをして、親睦

を深めることとしました。まず、本大会の主催幹事の我孫子支部長から「現役の方々と初めての交流行事ですが、怪我に注意して、大いに楽しんでいただきたい」との挨拶があり、プレーを開始しました。プレーが始まる式では、柏支部長からと、各レーンからは、ストライクやスペアを取るたびに、拍手と歓声が響いてきました。なお、現役の方は、OBと違ってボウリングをする機会が少ないためか(昭和40年代はボウリングが大流行していましたが)、悪戦苦闘者全員で食事をし、自由として、食事をしながら歓談して、さらなる懇親を深めることができました。約1時間の会食後は、次回の再会を約束して名残惜しくも散会しました。

(山崎英雄)

## 駅舎清掃で 古き青春時代に 酔う

高崎地本佐野支部



高崎地本佐野支部は、連日猛暑が続く中、20万人のお客さまが訪れる8月1日の足利の花火大会を2日後に控え、OB会員10名により会場最寄り駅のJR足利駅に隣接するあしがフラワーパークで案内掲示板、駅周辺地図、建物壁のほこりに磨き上げていきました。また、ホーム上の雑草取りも実施しました。炎天下の9時半に始まった作業は、さらに隣駅の富田駅に移動して同じ手順で行われ、12時半過ぎに終了しました。

(高橋孝)

## いにしへの里を ハイキング

大宮地本宇都宮支部

宇都宮支部では、「下野薬師寺址」などいにしへの里を巡るハイキングを実施しました。当日、自治医大駅に集合したのは10名、平均年齢75歳で、皆元氣いっぱいでした。梅雨入りしたものの雨は降らず、日差しは弱くハイキングには最適でした。自治医大の広大な敷



地の中の細い道を抜け、田畑が広がる道をしばらく歩くと、やや小高い一面に下野薬師寺址がありました。建物は再現された回廊の一部と六角堂だけで、あとは発掘時の写真と立札による説明書きがいくつもあるだけです。綺麗に整備された敷地には、他の団体の姿もあり、ボランティアらしき人が説明をしていました。私達は隣接する「下野薬師寺歴史館」に入り、ビデオ

の説明や発掘された土器・瓦・銅鐸等が展示されているのを見て、飛鳥・奈良時代に思いを馳せました。この歴史館が無料なのもありがたかったです。下野薬師寺は奈良東大寺、福岡筑紫観世音寺と並んで、日本三戒壇の一つであったと言われ、鑑真・勝道上人・道鏡等とも所縁があったということでした。薬師寺を後に「道の駅しもつけ」まで行き、

昼食としました。ここは栃木県で最も売上のある道の駅ですが、駐車されている大型トラックの数には驚きました。昼食後は、古刹の龍興寺の境内を通り、帰路につききましたが、一昔前までこの辺り一面にあった「ゆうがお」が見られなくなったのは少し残念でした。この日はあわせて10kmほど歩きました。

(石下悦雄)

国鉄、JR、私鉄、公営鉄道の全てにわたる初の総合鉄道史

# 鉄道百五十年史

本冊全5巻(計5224ページ)及び資料編(440ページ)  
箱入りセット価格 100,000円(税込)  
発行 公益財団法人交通協会



編集委員長 東京大学名誉教授 原 朗

編集委員(50名順) 立教大学名誉教授 老川慶喜/高知工科大学教授 大内雅博/(公財)鉄道総合技術研究所 小野田滋  
大阪大学名誉教授 沢井 実/交通協会顧問 菅建彦/東京大学教授 中村尚史/日本大学名誉教授 中村英夫/  
法政大学教授 二階堂行宣/交通安全環境研究所名誉研究員 松本 陽/元東京理科大学講師 持永芳文/駒澤大学教授 渡邊恵一

『鉄道百五十年史』は、初めての総合鉄道史として、官鉄・国鉄、民鉄、公営鉄道の全てにわたる我が国の鉄道150年の経営と技術の歴史を記述した大型企画です。

- 第一巻 創業から国有鉄道の誕生まで
- 第二巻 「帝国の鉄道」の形成・発展・崩壊
- 第三巻 復興期から高度経済成長期の鉄道
- 第四巻 交通市場の変容と国鉄の経営危機
- 第五巻 JRと民鉄の時代
- 資料編 (統計図表、年表、レファレンス、索引)



申込先  
交通新聞社 販売企画課 E-mail hanbai@kotsu.co.jp  
お申込の際は「お申込セット数」「お申込者名」「お申込者住所」「お送り先住所」「お電話番号」  
「メールアドレス」をご記入のうえ、上記のE-mailアドレスまでご連絡ください

### 第11回芸能大会 を盛大に開催 仙台地本仙台北支部

8月20日、「ホテルメトロポリタン仙台」で東日本鉄道OB会仙台北支部(本部長西條清和氏)主催の第11回芸能大会を、約200名の会員が参加して盛大に開催しました。来賓としてJR東日本の清野智顧問、高岡崇東北本部長、JR



親しくご挨拶がありました。管内各支部から選ばれて出演した34組65名の会員による歌謡、民謡、舞踊、清野顧問も参加したマジックや楽器演奏など、日ごろ会員が楽しみ、鍛錬した成果が披露されました。なかでも福島支部の高橋恒由さん(94歳)の唄う「津軽慕情」は、凛として力強く、ステージ前に応援団が出た。和やかで楽しいひと時が流れました。さ

### JR高崎支社開催 のポッチャ大会に 参加 高崎地本高崎支部

JR高崎支社長から高崎地本へ5月17日に高崎アリーナで「ポッチャ大会」を開催する案内があった。高崎アリーナはバスケットボール、バレーボール、バドミントン、体操・新体操大会等が開催され、全国的に知られた設備を有している。これを受けて全支部に参加案内をしたところ、10支部39名から応募があった。

当日はJR高崎支社・鉄道OB会を含め200名を超える参加があった。チームは3名で編成、現役3チームとOB会1チームの4チームによる総当たりのリーグ戦の交流試合が行われ、各リーグ戦2位までが決勝リーグに進むことができた。当支部は2勝したが総得点差で敗退。OB会では4チームが決勝トーナメントに進出し、大健闘したが敗戦した。



大会の様子は6月3日、JR高崎支社ビル別棟会議室で開催された「令和7年度定期総会」後に行われた、JR高崎支社幹部・グループ会社と昼食を摂りながらの意見交換時

### 「140年分の ありがとう」を 込めて 大宮地本小山支部

「その昔、小山から宇都宮間に二頭立ての乗り合い馬車が往復運行されていたという」  
街道文化のより栄えていた地域が明治18年7月16日の日本鉄道(現在の宇都宮線)開通で、鉄道という新しい交通革命により全てが駅を中心、町の経済、文化の交流、地域の発展と大きく変化し、現在では日

本の大動脈とまで言われるようになりました。小山支部では7月26日、宇都宮線開業140周年記念イベントの臨時団体専用列車「三県地酒で乾杯号」運転に伴い、会長以下15名の仲間たちが集って、お揃いの法被に身を包み、駅社員の皆さんと歓迎の横断幕と小旗を手にお出迎えを行いました。乗客の皆さんと記念写真を撮り、握手やハグを行いました。また車内では、お客さま同士が三県地酒で頬を染めて「乾杯」をしている姿が見られました。名残惜

い、会長以下15名の仲間たちが集って、お揃いの法被に身を包み、駅社員の皆さんと歓迎の横断幕と小旗を手にお出迎えを行いました。乗客の皆さんと記念写真を撮り、握手やハグを行いました。また車内では、お客さま同士が三県地酒で頬を染めて「乾杯」をしている姿が見られました。名残惜

外気温35度の猛烈な暑さの中で活動ではありましたが、お客さまへの感謝と社員の皆さんとの共同作業をやり遂げた満足感で、大粒の汗も清々しく感じられました。(江原猛夫)

### クイズ あらかると

①～④のヒントからそれぞれ□の中を駅名で埋め、太線の□に隠されている言葉を答えなさい。

No.34

①土讃線の駅、高知県高知市にあり、高知城にも近い。上り方の駅との駅間距離は0.8kmしかない。

②草津線の駅、滋賀県湖南市にあり、1889(明治22)年開業と駅の歴史は古い。近くを野州川が流れ、横田橋がかかっている。

③武蔵野線の駅、千葉県流山市にある唯一のJRの駅で、主に貨物列車が使用する武蔵野線支線が分岐する。「つくばエクスプレス」との接続駅でもある。

④只見線の駅、福島県金山町にあり、南側を只見川が東西に流れ、500メートルほど西には土木学会選奨土木遺産に認定された第四只見川橋梁がある。

抽選で正解者5人に500円クオカードを差し上げます

はがきに答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、所属支部、今月号で良かったと思う記事のタイトルを書いてお送りください。  
【宛て先】〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1 日本鉄道OB会連合会本部 鉄道OB新聞編集部クイズ係  
◎締め切り=11月28日(金)

### 投稿募集

「鉄道OB新聞」では、原稿を随時募集しています。「読者のひろば」は800字程度でテーマは自由、「支部だより」は支部の活動を200～400字程度でなるべく写真を1枚添えて、所属支部、氏名、年齢、住所、電話番号を明記して下記宛て先までメールまたは郵送でお送りください。

✉メールアドレス: [toukou@tetsudo-ob-honbu.com](mailto:toukou@tetsudo-ob-honbu.com)  
(原稿はwordファイルなど、写真はJPEGファイルなどをEメールに添付してお送りください。添付ファイルの最大容量は合計8メガまでです。)

郵 送: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1  
日本鉄道OB会連合会本部「鉄道OB新聞」編集部

### 「鉄道OB新聞」掲載記事の相互掲載について

本紙掲載記事は、全国の鉄道OB会が発行するOB新聞または機関誌に掲載することがありますので、予めご承知おきください。

短歌

坂井修一選

新庄 齋藤 俊治
農作業列車ダイヤが時計なり汽笛の音で二休み
評 汽笛で時刻を知り、田畑の仕事も一休み。「列車ダイヤが時計」とは深い日常だ。

仙台 田中 守敏
エンジン音マックスにして飛び立ちぬドクターヘリの空の青さ
評 救急患者を運ぶヘリが青空に飛び立つ。まず耳に、そして目に訴えてくる一首。

魚沼 星野 武二
枯れてなほ形崩さぬあぢさゝに老いのわが身を振り返り見る
評 枯れゆく紫陽花は色を失うが、それでも「形崩さぬ」のは美事。我が身も省みねば。

藤沢 石井 繁子
亡き夫の麦藁帽子かぶせつつ挿したる椿けさ彫り上げぬ
色相も褪せて立ちます古寺の阿吽の像のまなこ鏡し

高田 丸山 玲
佐倉 浅井 芳夫

俳句

大沢美智子選

加茂 三村 進
秋来る球児の鯨波天を突く
評 爽やかな季節を迎えた球場。猛暑の夏を予選で勝ち進み更に優勝を決めた球児達の歓声が鯨波となり観覧席を揺るがしている。「鯨波」が高揚感を見事に表現した。

盛岡 餘目 忠吉
貫乳をした子も八十路終戦日
評 終戦後の食糧難時代。母は赤子に十分な乳をやれず貫乳を子育てた。その赤子は作

夜汽車行くテールランプの赤い灯が穂波ゆらして遠ざかりゆく
柳井 赤野 洋二
小雪舞う遮断機降ろし灯を掲げ無事に走れよ夜行列車よ
大牟田 長宗我部明照
春雨に打たれ落ちたる一輪の和菓子のごときワビスケの花
米子 松島 道幸
演技終え友は逝きたりまなこ閉じセリフ残したような口元
折尾 藤原 一子
文化祭今年も参加者予想して百円ショップをめぐる買い出し
福知山 桐村 博之
タブレット自動信号ATC右左よしわが習いかな
安中 大久保麗子
あををし紫蘇の葉味の香りよ暑き日に食むさうめん旨し
前橋 金子 侑司
走り行く選手のために熊よけの爆竹鳴らす赤城マラソン
賀茂 三村 進
米論議世上賑わす昨日今日瑞穂の国も今やいずこに
白河 桑井キヌ子
山百合の新芽に小さき虫登りまた下りして我を悩ます
諏訪 吉田 廣
病院で薬もらいし窓口の乙女の

笑顔心安らぐ
福知山 荻野 洋子
自転車にゆるいカーブを描かせて蜻蛉のごとく下る少年
長野中央 高木 敬介
廃屋に残りし柿も留守役の野鳥に任せ遠くで折る
福知山 田中 一郎
泣くひ孫父親抱きて声ひそめ祖父の声かけゲラゲラ笑う
小山 谷津田敏博
ひぐらしの鳴き声寂し雑踏に紛れることもなくそこに秋

忘れて楽しいひと時に酔います。この場合古傷を持つてきたことが意外性がある佳句となつています。
新庄 齋藤 俊治
スーパーのセルフレジしてボケ防止
大宮 谷津田俊博
現代はほとんどのスーパーのレジがセルフとなつています。セルフレジは敬遠するシルバリーが多い中、あえてセルフレジに挑戦する意気込みは見事です。ボケ防止になることでしょうか。リズムが良いです。
八戸 加賀谷栄一
可も不可も鉄路にゆだね今日の道
長野北 櫻井 章一
布団干し孫の笑顔待っている
加茂 三村 進
妻の愚痴そつと補聴器外しおりの
柳井 赤野 洋二
冷戦を溶かす言ありがとう
秋田 小林 隆
ピン古札タンスの底に眠らせる
塩尻 明間 進
駅ホームぶどうの房に子らの声
明石 山田 正義
万博の外国パビリに世界感
仙台 佐藤 高志
国鉄も死語となりつつ今を生きて
長野中央 高木 敬介

川柳

大野征子選

川崎 佐藤 正義
寝不足気味の時に、ワイパーが催眠術をかけてくる
評 寝不足気味の時に、ワイパーをかける規則正しい音につられて、眠気をもよほす時があります。催眠術をかけてくるという着想が素晴らしいです。リズムも良くまとまっています。
宇都宮 池田 篤信
古傷に酒とカラオケ妙に効く
評 辛い時にはお酒を飲んでカラオケで思いっきり声を出すといつの間にか嫌なことを

母の背に眠りし主役七五三
郡山 遠藤 恭子
本心を告げられずるて墓洗ふ
黒磯・那須 高久 登江
木道を身をだぶつかせ毛虫かな
出雲 須田 勲
筆はこぶ一点一画秋麗ら
千葉 小林 善治
百二十歳目指し鍛錬天高し
後妻 中島 政光
虫の夜となれば愛しき旅の酒
仙台 高橋 永喜
やや寒の方が捗るよるづ事
新庄 齋藤 俊治
オカリナのひびく棚田や秋取め

靴底に見える思い出夫婦坂
舞鶴 松宮 宏宣
茶毛はえおす三毛猫で様になり
徳山 重広 秀雄
S.Lの煙青田を引掛ける
南仙台 郷家 敏
日影まつ炎暑に火照る面に飽き
北宮城 鈴木 四男
年金者帰省の足は夜行バス
福井 嶋野 直樹
ふり向けばそこに控える秋の風
高田 越前 邦夫
徹夜勤務の弁当三ツ妻の味
諏訪 吉田 廣
稲刈りや雀集合食事会
仙台 大久 年美
年老いて私の耳は蟬時雨

初秋の風が心地よく吹き抜け秋の気配が漂い始めた9月12日、東京・旧新橋停車場とお茶ミュージアム、浜離宮茶ミュージアム、浜離宮恩賜庭園を巡る見学会を会員13名の参加を得て実施しました。歴史と文化が織りなすひとときを、仲間とともに味わうことができました。旧新橋停車場の見学会においては、鉄道の黎明期を今に伝えるこの歴史的建造物について、鉄道OBとして深い感慨と学びをもたされたいと、最後に「世界で貴いきました。」

お茶ミュージアムと浜離宮見学会
大宮地本大宮支部
大宮地本大宮支部



製作体験」を行い、皆さん、奥さんやお孫さんへのお土産として熱心に製作していました。最後に訪れた江戸時代の大名庭園として名高い浜離宮は、都会の喧騒を忘れさせる静寂と風雅に満ちており、潮入の池に映る松の緑、御茶屋の佇まいと抹茶の味わい、そして秋草の彩りが、心を穏やかにしてくれ、歴史の息吹を感じるひとときとなりました。今回の見学会は、自然と文化、そして仲間との交流が織りなす、心豊かな時間となり、今後も大宮支部ではこのような学びと癒しのイベントを開催していきたいと思っております。(口町茂昭)

イノシシ除去
対応で感謝状
八王子地本
6月14日の19時頃、中央本線新府駅〜新府駅間で、普通電車がイノシシ2頭と衝突し、一時不通になりました。イノシシ2頭のうち1頭が、生きて威嚇するため、警察官も加わり対応しましたが、復旧に手間取り難航しました。そうした中、自治体を通して依頼を受けた、2名の猟友会の方が駆け付け、線路内のイノシシを除去してくれました。伊藤文義さんが出席し、鉄道事業部長(八王子支社長)から感謝状を受け取りました。(大貫和夫)

名前の猟友会の方が駆け付け、線路内のイノシシを除去してくれました。伊藤文義さんが出席し、鉄道事業部長(八王子支社長)から感謝状を受け取りました。(大貫和夫)

今年も12月3〜9日の一週間(毎年同時期に開催)、「障害者週間」が実施され、障害者に対する理解や共感を深めるためのイベント等がこの期間に実施されるとのことです。本紙で紹介した「鉄道弘済会」の取り組みは、他に先駆けて昭和7(1932)年から障害者を対象とした救済・支援を行っており、大変歴史のある取り組みです。鉄道OB会との関係についても記載しておりますので、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

今年も12月3〜9日の一週間(毎年同時期に開催)、「障害者週間」が実施され、障害者に対する理解や共感を深めるためのイベント等がこの期間に実施されるとのことです。本紙で紹介した「鉄道弘済会」の取り組みは、他に先駆けて昭和7(1932)年から障害者を対象とした救済・支援を行っており、大変歴史のある取り組みです。鉄道OB会との関係についても記載しておりますので、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

今年も12月3〜9日の一週間(毎年同時期に開催)、「障害者週間」が実施され、障害者に対する理解や共感を深めるためのイベント等がこの期間に実施されるとのことです。本紙で紹介した「鉄道弘済会」の取り組みは、他に先駆けて昭和7(1932)年から障害者を対象とした救済・支援を行っており、大変歴史のある取り組みです。鉄道OB会との関係についても記載しておりますので、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

今年も12月3〜9日の一週間(毎年同時期に開催)、「障害者週間」が実施され、障害者に対する理解や共感を深めるためのイベント等がこの期間に実施されるとのことです。本紙で紹介した「鉄道弘済会」の取り組みは、他に先駆けて昭和7(1932)年から障害者を対象とした救済・支援を行っており、大変歴史のある取り組みです。鉄道OB会との関係についても記載しておりますので、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

クイズあらかると
前回クイズの正解と当選者の発表
前回クイズの正解発表です。答えは「森羅万象」でした。今回の図柄は篠倉高幸さん(大阪北支部)です。正解者の中から抽選により下記の方が当選されました。おめでとうございます。
●当選者…齋藤透(新潟支部)、高山卓士(東京地本)、藤原一子(折尾支部)、松本通晴(豊前築上支部)

クイズあらかると
前回クイズの正解と当選者の発表
前回クイズの正解発表です。答えは「森羅万象」でした。今回の図柄は篠倉高幸さん(大阪北支部)です。正解者の中から抽選により下記の方が当選されました。おめでとうございます。
●当選者…齋藤透(新潟支部)、高山卓士(東京地本)、藤原一子(折尾支部)、松本通晴(豊前築上支部)



今年も12月3〜9日の一週間(毎年同時期に開催)、「障害者週間」が実施され、障害者に対する理解や共感を深めるためのイベント等がこの期間に実施されるとのことです。本紙で紹介した「鉄道弘済会」の取り組みは、他に先駆けて昭和7(1932)年から障害者を対象とした救済・支援を行っており、大変歴史のある取り組みです。鉄道OB会との関係についても記載しておりますので、ご一読いただければ幸いです。(阿部)